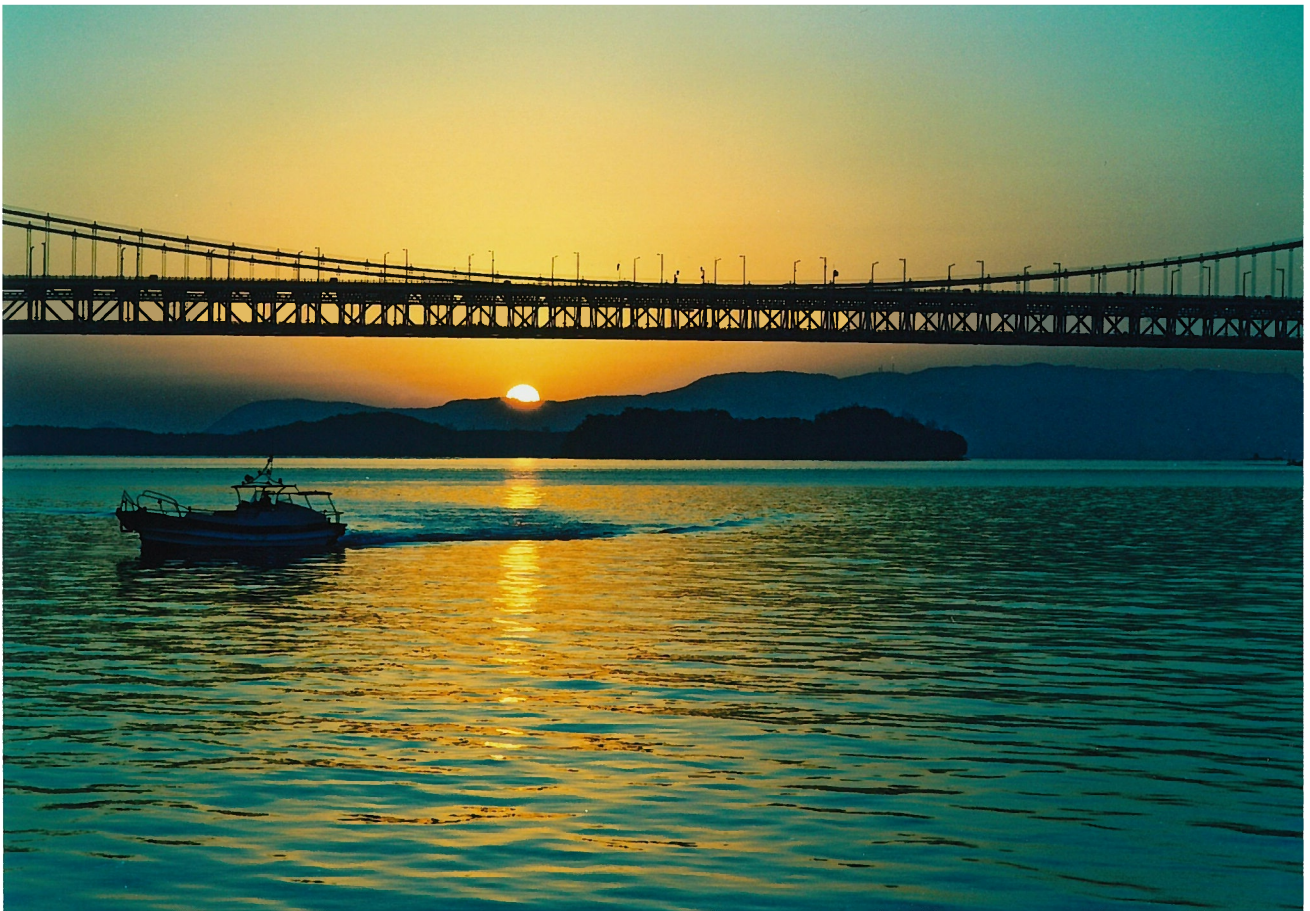




下津井から見た初日の出 撮影：河田隆弘様

地域住民に信頼される病院

目 次

- P1. 院長より新年のご挨拶
- P2. コーヒーブレイク～山崎泰源 Dr.～
- P3. 部署紹介～児島聖康病院編～
- P4. 部署紹介～向日葵編～
- P5. 行事（クリスマス会・忘年会）
- P6. 私のテニス人生・転倒予防教室の開催
- P7. 新人紹介





新年のご挨拶

医療法人社団五聖会 理事長 山崎泰弘

新年おめでとうございます。

平成28年を迎え、児島聖康病院は開院36年目を迎えました。

人間では働き盛りの最高の年齢ですが、残念ながら病院は老年期にさしかかっています。

しかし、幸にも昨年より若い山崎泰源先生が新たに常勤となり、若さを注入してくれて少しずつ活力を取り戻しています。

医療環境も年々変化し、地域住民の皆様方の期待に応えるためには、それに対応する力が必要となって来ます。患者さんに対する治療も、説明と同意が当たり前となり、又、

QOL（生活の質）を考えた治療が優先されます。新薬も開発され、今まで完治できなかった病気も治るようになってきています。手術に於いては、大きく開腹するのではなく、腹腔鏡下手術が当たり前になって来ています。虫垂炎、ソケイヘルニアでもそうです。

泰源先生の手術を見て、私はその技術に驚くばかりです。その若い力を支えていくためには医療環境の充実がますます不可欠となってまいります。同時に当院に於いても近代的な医療が出来ることを地域の人々に知っていただけるよう努力しなければなりません。

今年は医師、看護師を含め全職員が年々進歩する医療に付いていけるよう積極的に勉強し、知識、技術を身に付けていき、よりよい治療や看護を提供できるようにしたいと考えています。そのためには院内に於ける研修会、講演会を医師、看護部、リハビリテーション部、薬剤部で企画して個人個人のスキルアップに繋げていきたいと思っています。

今年の目標は **躍進！** 期待して下さい。



コーヒブレイク ～年賀状～



外科部長 山崎 泰源

新年をむかえるにあたり楽しみにしていることがある。

それは、年賀状である。最近、特に若い世代では電子メールでのやりとりが普及した影響で年賀状を出す人が減ってきているらしいが、自筆のメッセージが書かれた年賀状はやはり人の温かみが伝わってきて私は好きだ。

医者になって15年を過ぎたが、ここ最近の年賀状は少し特別なものになってきた。若い医師はさまざまな病院で研修を重ねていくのが通例とされている影響で、私も医師になって以来6つの病院に勤務した。

そこで多くの患者さんに出会い、一緒に病気と闘いながら勉強をさせてもらったが、残念ながら治療半ばで転勤となり“その後”が気になる患者さんが増えてきた。そんな患者さん達からの近況報告が年賀状の大半を占めるようになり、今では300通を超える年賀状を一喜一憂しながら読むようになった。

医学というものは100%がない科学である為、治療がうまく行って元気ですという報告だけではなく、中には癌が再発して再度治療中ですといった報告や暮れに他界したなどといった家族からの報告（年賀欠礼）もあるが、そういった報告もあるということが、私にとってはむしろ患者さんとのつながりを強く感じることでできる要因となっている。

以前届いた年賀状の中でこんな1枚があった。直腸癌で亡くなった患者さんの奥様からの手紙である。患者さんは35歳と若く、進行直腸癌を患い手術や抗癌剤・放射線治療とできる限りの手を尽くしたが、2年半の闘病生活を経て2人の幼い子供と奥様を残しこの世を旅立たれた。そんな彼が長期入院で子供達と一緒に過ごせない悩みを打ち明けてくれたことがあり、スタッフと相談してクリスマスを特別室で家族と過ごしてもらったことがあった。普段大部屋で横たわる父親と遠慮がちに接してきた子供達にとって、病院の特別室で過ごした家族だけのクリスマスは思う存分父親に甘えられる特別な時間となったのか、手紙には子供達の字で“クリスマスありがとう”と書かれていた。医師としてすべての病気を治すというのは難しい。しかし、すべての患者さんやその家族にありがとうと言ってもらえる医療は存在するのかもしれない。

今年も患者さんからどんな報告があるのか楽しみである。

☆部署紹介～児島聖康病院編～☆

3階ナースステーション

笑顔が飛び交う元気な病棟⊕



私たち3階病棟は、急性期・慢性期・終末期と幅広い疾患の患者さんが入院されています。急性期は、鼠径ヘルニアや胆石等を含む胃腸疾患、骨折・バネ指などの骨関節疾患、前立腺肥大や膀胱がんなど泌尿器疾患等の手術前後の管理を行っています。

慢性期は、糖尿病患者さんの血糖コントロールによる教育入院や、脳血管疾患で後遺症のある患者さんのリハビリを行い、日常生活動作の拡大を促し、早期退院を目指しています。

終末期は、患者さん自身がその人らしく最期を迎えられるよう、苦痛の緩和や精神面への援助とともに、患者さんの家族も含めサポート出来るようチーム連携を図っています。また、寝たきり高齢者が多いため褥瘡患者さんの全身管理として、皮膚科医師による定期的な褥瘡回診をし、毎日状態にあった処置を行いながら褥瘡の早期改善に努め、再発防止対策もしています。安全で質の高いサービスを提供するため、院内外への研修へ積極的に参加し、医師・薬剤師・栄養士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ケアマネージャーなど、他職種と連携を取りながら患者さんの治療を行っています。

3階看護師一同は、心のこもった看護を提供するために笑顔を忘れず、声を掛け合い、患者さん1人1人を思いやり、相手の立場に立って看護が提供できるよう、日々励んでいます。



☆部署紹介～向日葵編～☆

グループホーム向日葵 1 階ユニット



向日葵だよりでおなじみのグループホーム
向日葵です。どうぞよろしくお願い致します。

当ユニットでは、家庭の延長線のような暖
かい雰囲気、「できる」力を生かした日常生
活、明るく活気のある生活をモットーに日々
努力しております。

我が1階ユニットのスタッフは、みな楽しいことが好きで、とっさの思いつ
きでゲームにしてみたり、入居者様と一緒に小さなことでも共に楽しんで
います。

認知症の方の問題に関しては、「いずれは自分も当事者になりうる可能性もあ
る」という事をいつも振り返り、自分だったらどのような毎日が送りたいか・・・
私達の場合よく食べ、よく笑い、健やかに生活を営みたいと思いますので、色々
と工夫しながらその人に応じたケアをさせて頂いています。その成果もあって
か、入居者様の間で馴染みやすい関係が出来、それが仲間となり、自然といい
雰囲気になってきます。しかし、甘んじることなく、職員間の研修会、医師・
看護師・リハビリスタッフとのチームケアとしての連携で入居者様やご家族に
「向日葵に入居してよかった」と思って頂けるよう1日1日を大切にしながら
共に生活して参ります。

さあ！！

今日はどんな楽しい1日が待って
いるだろう・・・☆



～ クリスマス会 ～

クリスマス会主催者：聖康会



毎年恒例のクリスマス会を2015年12月22日（火）に開催いたしました。聖康会メンバーが中心となって、色々と催し物を考え、今回は岡山市で活動されているボランティアの『チームマジック』様に出演を依頼致しました。クリスマス会当日は山崎院長の美しい歌声で始まり、期待のマジックショーへと移り進みました。“何が現れるのか？”まだか

まだかと待っていますと、彩り鮮やかなハンカチの中から、大・中・小の様々な傘のオンパレード！歌「りんどう峠」に合わせて数々のりんどうの花の出現などなど。中でも圧巻だったのは、小さなテーブルではありましたが、宙に舞うという大マジックに一同ビックリ（ﾟдﾟ）！拍手喝采でした。マジックの余韻を残しながら、全員でクリスマスソングを合唱し、楽しいひと時を過ごすことが出来、来場の患者さん達には最後に、当職員が変装したサンタさんからのプレゼントを貰って、来年を楽しみに、笑顔で会場を後にしました。



2015.12.22

聖康会代表 福本 博



～ 忘年会 ～



毎年恒例、年末に行われます当院の忘年会のかくし芸大会に出場しました。そして“優勝”

致しました。練習は本番の約2週間前より自主練し、二人で合わせたのは1週間ほど前のたった30分程度でした。仕事や学校・家庭のこともあ

り沢山練習が出来なかったけれども、二人の絆♡が深く、阿吽の呼吸で本番合わせることが出来ました。トラブルといった事はなかったけれど、練習する時間が足りずとどうなるかと正直思いましたが、本番に強い二人なので当日は一番の出来でした♪（笑）かくし芸をして、更に二人の絆は深くなりました!(^^)!

看護学生 渡部 由美

～ 私のテニス人生 ～

私とテニスの関わりは50年以上前父親の姿をみて育ったからだと思う。父親がテニスの試合に行くといつもお土産があり、帰りを楽しみに待っていた記憶がある。そしてテニスの試合があると何かお土産がもらえるという考えが自然と身に付いてしまった。幼い頃、父の練習に何度か連れて行ってもらった記憶がある。練習試合をしている父の姿がすごく格好良かったのを憶えている。中学校になると父のラケットをもらい私のテニス人生が始まった。気が付くと50数年が経っている。勝ったり、負けたり、悔しかったり、楽しかったりしながら



から今も続いている。そして2015年の11月にシニアの岡山大会60歳の部で優勝し新聞の片隅に載った。やったー！テニス人生あと何年？何十年？出来るかわからないが目指せ100歳超えと思って頑張っている。仕事・テニス等々、とにかく人生は長い。くよくよせず何事も感謝、感謝の心を忘れずに頑張っている今日この頃である。



3階ナース 清原 千恵子

～ 転倒予防教室の開催 ～

リハビリテーション科の健康増進・介護予防チームではボランティア活動の一環として転倒予防教室を開催しております。今回は11月17日に4回目の教室を下の町憩いの家にて行い、16名の方に参加していただきました。内容は①バイタルサインのチェック②転倒予防の指標となる検査③転倒予防体操④二重課題トレーニング（歩行中に注意がそれでも転倒しないよう、手足の運動と頭の体操を同時に行うトレーニング）を実施しました。参加者の方には笑顔で熱心に取り組んでいただきました。



PT 原 宗一郎 OT 須藤 真弓 OT 三宅 佑貴

新人紹介します♪

またお世話になります。
よろしくお願い致します。

2階看護師 松田 咲子



約1年看護の現場から離れていて緊張の毎日ですが、笑顔を忘れず頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

2階看護師 濱崎 安紀



今年から縁あって、十数年ぶりに勤務する事となりました山崎です。心改め初心にかえり、患者様中心の看護をさせて頂く事と、安心して治療に専念して頂くため、患者様・御家族様と医療従事者との”かけはし”となれる様に日々精進して参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

3階看護師 山崎 留美



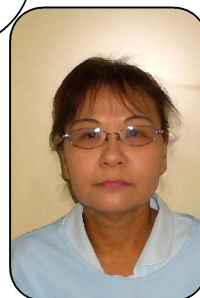
広島県から来ました。患者さんに優しい看護を頑張ります。よろしくお願い致します。

3階看護師 柴田 みどり



全くの初めての仕事で続けることが出来るかすごく不安でしたが皆さんに教えて頂きながら毎日一生懸命頑張りますので、これからもよろしくお願い致します。

2階看護助手 本正 美穂



医療法人社団五聖会

児島聖康病院

〒711-0906

岡山県倉敷市児島下の町10-374

TEL 086-472-7557

FAX 086-472-1143

http://www.seikoh-hp.or.jp/

医療法人社団五聖会

向日葵

〒711-0906

岡山県倉敷市児島下の町10-374

デイサービスセンター向日葵 TEL 086-473-7736

グループホーム向日葵 TEL 086-473-7756

訪問看護ステーション向日葵 TEL 086-472-3312

ケアプランセンター向日葵 TEL 086-473-8876

FAX 086-473-7728

医療法人社団五聖会

シーホーム向日葵

(サービス付き高齢者向け住宅)

〒711-0903

岡山県倉敷市児島田の口7-1-16

TEL 086-477-4165

FAX 086-477-4167



地域医療

児島聖康病院

医療法人社団五聖会

リハビリテーション

訪問
リハビリテーション
短時間通所
リハビリテーション

介護 福祉

訪問看護ステーション向日葵
ケアプランセンター向日葵
デイサービスセンター向日葵
グループホーム向日葵
シーホーム向日葵
ヘルパーステーション向日葵

